

令和 6 年名古屋港の港勢

令和 6 年（2024 年）の名古屋港の港勢は、入港船舶隻数は前年実績を下回りましたが、船舶総トン数及び総取扱貨物量は前年並みとなりました。

1 入港船舶

入港隻数は 27,466 隻（前年比 3.0%減）、総トン数は 2 億 1,549 万トン（同 0.7%減）となりました。

○ 外航船舶

入港隻数は 7,323 隻（同 0.5%増）、総トン数は 1 億 7,752 万トン（同 0.2%減）とともに前年並みでした。全体の 5 割以上を占めるコンテナ船においては、入港隻数は 3,885 隻（同 2.9%減）、総トン数は 7,943 万トン（同 3.7%減）と入港隻数、総トン数ともに前年実績を下回りました。

○ 内航船舶

入港隻数は 20,143 隻（同 4.1%減）、総トン数が 3,796 万トン（同 2.7%減）と入港隻数、総トン数ともに前年実績を下回りました。

2 海上出入貨物

令和 6 年の総取扱貨物量は、1 億 5,671 万トン（前年比 0.7%減）と前年並みとなり、平成 14 年から 23 年連続で日本一になりました。

また、総取扱貨物量のうち外貿貨物取扱量については、1 億 1,102 万トン（同 1.8%増）と前年実績を上回り、平成 12 年から 25 年連続で日本一になりました。

○ 外貿貨物

輸出貨物量は、4,354 万トン（同 1.1%増）と前年実績を上回りました。取扱貨物の上位品種は完成自動車、自動車部品、産業機械といったこの地方で生産される代表的な品種で、特に完成自動車、自動車部品の上位 2 品種で全体の 6 割以上を占めています。国・地域別では 1 位が中国で 473 万トン、以下 2 位アメリカ 456 万トン、3 位オーストラリア 346 万トン、4 位アラブ首長国 258 万トン、5 位タイ 228 万トンです。

輸入貨物量は、6,747 万トン（同 2.2%増）と前年実績を上回りました。取扱貨物の上位品種は LNG（液化天然ガス）、鉄鉱石、原油、石炭といった天然資源で、全体の 5 割以上を占めています。国・地域別では、1 位がオーストラリアで 1,340 万トン、以下 2 位中国 1,308 万トン、3 位アメリカ 711 万トン、4 位サウジアラビア 416 万トン、5 位カナダ 357 万トンです。

○ 内貿貨物

移出貨物量は 2,252 万トン（前年比 7.5%減）と前年実績を下回りました。取扱貨物の上位品種を完成自動車、鉄鋼、重油、揮発油、その他の石油が占めました。移入貨物量は 2,317 万トン（同 5.2%減）と前年実績を下回りました。取扱貨物の上位品種を完成自動車、鋼材、セメント、石灰石、化学薬品が占めました。

○ 外貿コンテナ貨物

外貿コンテナ貨物量は、4,589 万トン（同 2.1%増）、コンテナ個数は 259 万 TEU（同 2.1%増）とともに前年実績を上回りました。

輸出入別で見ると、輸出は 2,286 万トン（同 2.3%増）、輸入は 2,303 万トン（同 2.0%増）とともに前年実績を上回りました。

品種別では、輸出は自動車部品、完成自動車、産業機械、その他化学工業品、ゴム製品が上位を占め、輸入は衣服・身廻品・はきもの、自動車部品、その他化学工業品、電気機械、輸送用容器が上位を占めました。

国・地域別では、輸出は 1 位が中国で 403 万トン、以下 2 位アメリカ 365 万トン、3 位タイ 168 万トン、4 位アラブ首長国 113 万トン、5 位ベトナム 104 万トンです。輸入は 1 位が中国で 1,010 万トン、以下 2 位ベトナム 181 万トン、3 位タイ 149 万トン、4 位アメリカ 134 万トン、5 位インドネシア 103 万トンです。